



「学びのつながり」2 ～個別学習と合同学習～

道川分教室は、各教科等を「自立活動」に替えて、自立活動を主とした指導を行っています。自立活動は、一般的に個別指導の形態で行われることが多いですが、指導の目標を達成する上で効果的である場合には、集団を構成して指導する場合があります。

(参考：「特別支援学校自立活動ガイド」令和2年3月 秋田県教育庁特別支援教育課)

本ホームページのトピックや本コーナーでも紹介していますが、道川分教室では体育的な活動と音楽的な活動を合同で実施しています。

個別学習で取り組み、できるようになってきたことが一人一人にあります。動きの得意な部位を使って気持ちを表現したり、制作したりする、タブレット（アプリ）を使って呼び掛けに応える、自分の気持ちや感想などを言葉で話す、等々・・・

合同の学習では、個別学習で取り組み、できるようになってきたことを活用（発揮）できる場面をつくります。

- ・楽器をもち、得意な動きで合奏する。
- ・友達や担任以外の先生からの呼び掛けに、タブレットで応じる。
- ・個別学習で覚えた言葉を使って、担任以外の先生に依頼する。

担任との関係性の中でできるようになってきたことを、少し異なる環境の中で発揮できるようにすることは、「生きる力」の幅を広げ、将来の生活の質を高めることにつながると考えます。

これからも、学びをつなげる授業づくりを大切にしながら・・・。



【タブレットを使って】



【合奏】



【感想を伝える】

*本ホームページ内のトピック「音楽的活動～学習の様子～」「体育的活動①②～熱闘 道川甲子園！野球盤ゲーム・秋のスポーツ大会 的当てゲーム～」や、本コーナー#6「関わりのカタチ～授業の様子から～」も、併せてご覧いただければ幸いです。